

迎春  
1987 元旦



広報

ひがしゆり

# 新年

畠山亮二郎筆



畠山町長

町民のみなさん、あけましておめでとうございます。早いもので、町政を担当して4回目の新年を健康で迎えることができました。今年の干支は卯年。私は年男となりました。

それに還暦を迎える年。人生の再出発の年となりましたので、過去4年の任期をふりかえりながら、心を新たにして、町発展のために一層の飛躍を期してまいります。

さて、私は就任以来、新しい流れの東由利町政を切り拓くことを町民のみなさまに公約し、21世紀をめざした新農村東由利町建設に向けた、政策実現に意欲的に取り組んでまいりました。就任早々、私は町のスローガン「豊かな自然みんなで拓く町

伸びる町」を制定し、恵まれた緑の大自然を活かしながら、これを町民みんなで切り拓き、町の発展策を力を合わせて努力しようと呼びかけてきました。

そして、「町民とともに歩む町政」「町民総参加の町政」を旗じるしとして、民主政治の原点を守りながら町政に取り組んでまいりました。

また、これを具体化し実践するために、「町民憲章」を制定して町民とともに歩む町政の基

信英」を立地してこれにこたえました。

第2には、人をいたわる町、親子仲よく住める町、福祉の町づくりをめざして、やがてくる21世紀の長寿社会に対応した先取りの施策として、特別養護老人ホーム「東光苑」を建設し、イサービス事業の新設、児童福祉の強化としてみどり保育園の増築などをはじめ永慶保育園の増進などを実現し、福祉行政の急



をはじめ、農道、林道の新設改良整備、さらには畜産指導員制度を採用するなど、農、畜、林業振興策を新しい時代への農政の布石として、堅実に実践してまいりました。

## 「新農村東由利」建設の時代へ

—新しい飛躍の年に—

町長 畠山 亮二郎

本を定め、これを道しるべとし、すべての行政を町民憲章のもとに推し進めてまいりました。

私はこの4年間、町民のみなさんの力強いご協力のもとに、新しい町づくりのための大きな4本の柱を政策の中心として、これを実現してまいりました。

それは——第1に、若者が未来に夢と希望をもって定住できる町づくりであり、若者の職場づくりとして、誘致企業「秋田

第3には、健康で明るく住みよい町づくりとして、健康増進センター（町民体育館）をはじめ、テニスコート、多目的集落施設、農村公園等の建設を進め、町民生活の向上の施策を充実してまいりました。

第4には、新農村東由利を切り拓くための町づくりとして、基幹産業振興のために基盤整備に力点をおき、育苗センター、畜産広場、林産加工施設の建設

わが東由利町は、新しい農村をめざし、すでに21世紀に向けての出発（たびだち）がはじまりました。今年、前述した新しいレールの上に立つて、新農村東由利建設のために、さらに一層の飛躍を期してまいります。

年頭にあたり新たな決意を申しのべ、町民のみなさまの一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。

# 謹賀



新年おめでとうございます。子どもたちと雪遊びなどをしていると本当に平穏な正月で、ここは1つ何も考えず休養、というのが皆さんの本音でしょうが、実はこうして穏やかに迎えた新年も、考えてみるといまだかつて経験したことのない大変厳しい年明けとなりました。

まず大局的には、わが国の今日の繁栄をもたらした鉄鋼などは閉鎖に追い込まれています。つまり「重厚長大」から「短小軽薄」への変革ですが、驚くことにその先端産業の中にさえ、地方進出の取りやめ、操業中止が進んでいるといわれます。

加えてわが町の基幹産業たる農林業、畜産も、国際化の波にさらされております。アメリカ

の「コメ」自由化攻勢をきっかけに起こった農業への風当たりは、財界消費者とも正に総攻撃のありさまです。

そうした中央のうねりの中で、わが町が一体いかにあるべきか、かつどう対応すべきか、今こそ真剣に考えなければなりません。

う現状にもかかわらず、いまだに1・5次産業らしき姿も見られない実態です。行政、農協の腕の見せどころです。

次に、商工業を農業と同列の産業として位置づけ、若者が喜んで住む農商工一体の町をつくることです。

## 自ら行動する

## 気力をもって

— 農商工一体の町へ —

議長 長谷山 二郎

まず農業ですが、本年から始まるポスト三期対策を東由利農業の生き残りの正念場として捉えなければなりません。ここは1つどんな障害にも絶え得る農業の確立のため、多少の荒療治も必要です。また、昭和45年から延々として続く減反、加えて圃場の整備もほぼ終わったとい

今わが町には各種企業が操業、多くの町民が就労しています。中央からの外圧をはねのける企業努力は当然としつつ、同時にわが町に立地定着するための環境づくりには、行政として今1つ工夫が望まれるところです。なぜなら、就業の場と所得、この2つが町の再生発展の欠くべか

らざる要因だからです。さて、先ごろ国土庁から4全総が示されたが、巨大都市づくりの計画部分には賛成する訳にいきません。過疎にあえぎ、豪雪に孤立する集落のことを思うとき、政治の片寄りに憤りすら覚えます。国土の均衡ある発展、過疎過密の解消こそ全ての国民の悲願です。真の「地方の時代」確立のためにこのことを強く主張して行かなくてはなりません。

町民のみならず、このような厳しい難局を切りぬけるには、今までのような成り行きまかせではダメです。成り行きまかせはあなたまかせであり、アキラメと同じです。行政や議会がいくら叫んでも皆さんが立ち上がらなければ何もできません。皆さんが叫んで行政や議会が起きなかつたらそれはリーダー失格です。

今年はその位の気力で頑張ってくださいませ。

それでは皆さん良いお年を。

長谷山議長

# 迎春

本年もどうぞ  
よろしくお願  
い申し上げます  
昭和62年 元旦

東由利町議会

議長 長谷山二郎 (総務財政常任委員)

副議長 川尻 幾郎 (教育民生常任委員)

総務財政常任委員長 伊東庄一郎

副委員長 長沼 久男

委員 畠山 淳悦

同 小野 要造

同 遠藤 正男

教育民生常任委員長 渡辺 清一

副委員長 小松梯之助

委員 遠藤 忠平

同 畠山作四郎

同 小松与惣雄

産業建設常任委員長 遠藤治郎助

副委員長 梅津 栄一

委員 小松 鉄郎

同 畑山 清一

同 加藤 栄一

同 小松 豊

# あすの東由利農業に生かせる

特集

## 新春座談会

### 出席者の紹介

**遠藤芳裕さん**  
よしひろ

宿・36歳

水田5畝、飼料畑1・5畝、肉用牛30頭（繁殖と肥育の一貫経営）の1種兼業農家。たい肥利用の特色ある作物づくりの意欲を燃やし、畑作と畜産による2千万円農業を目指している。

**小笠原豊和さん**  
とよかず

蔵新田・36歳

水田2・2畝、畑80ア、肉用牛3頭の1種兼業農家。稲作、畑作、畜産の複合経営による1千万円農業を目指している。東由利農協青年部長。

**金子拓雄さん**  
たくお

新町・35歳



水田利用再編次期対策にかかわる「水田農業確立対策」が、62年度から6年間実施されることが決まり、転作等目標面積の積み増し、奨励金（助成金）のカットが行われることになりました。

広報ひがしゆり恒例の「新春座談会」では、この深刻な農業問題を取り上げ、町内中堅農業青年5人に話し合いをしていただきました。（文中敬称略）

**司会** みなさんにはお忙しいところお集りをいただきありがとうございます。とうございました。

ご承知のように、今年水田農業確立対策が実施されることで転作目標面積が大幅に増え、転作奨励金（新名称水田農業確立対策助成金）も大幅に引き下げられます。そうしたことから、稲作中心の農業立町である本町にとってこれからの稲作経営はまさに試練に立たされたといっても過言ではないと思います。

そこで、これからの東由利農業を生きぬくためにはどうあるべきか、とくに、増えた転作面積にどう対処していったらいいのかを、町の中堅農業青年であるみなさん方に討論していただ

き、町の農政に反映させたいところからお集りをいただきました。それでは、座談会に入る前にまず町長からあいさつをお願いします。

**町長** 私は、東由利町から何がとれるのか、と聞かれたときに、「米と牛と葉たばこだ」と胸を張って答えています。

本町は、良質米あきたこまちの重点栽培地域に指定され、今年151畝に作付けしその主産地を目指しています。牛では銘柄牛である由利牛の産地であり現在5分の1を本町で生産しています。また、葉たばこは、増田葉たばこ耕作組合管内でも品質面で常に上位に位置し、他町村が減反傾向にある中でも本

野菜畑1・5畝、豚10頭、水田90アールの専業農家。農協への流通金額1千万円を目指し、高冷地野菜の栽培振興に意欲を燃やしている。

**小野勝徳さん**

かつのり

上里・34歳

水田8・5畝、畑10アール、肉用牛6頭の専業農家。

本町最大規模の稲作農家で、転作面積増大の打撃を受けながらも、大型稲作経営への挑戦に意欲を燃やしている。秋田県青年農業士。

**小松良徳さん**

よしのり

山崎・28歳

水田2・7畝、飼料畑30アール、肉用牛10頭の1種兼業農家。米、野菜、牛の複合経営による専業農家を目指している。

町長 畠山亮二郎  
司会 榊野 忠義  
(産業経済課長)



遠藤芳裕さん

町は増反が認められ、まさに主産地といえます。

しかしながら、さきほど司会から話がありましたように、農業はいま大変な時代を迎えています。新しく始まる水田農業確立対策は、これまでの行政主導型の農業から生産者主体型の農業へと転換がせまられているもので、今年はその最初の大事な年でもあり、これからの町の農業はいかにあるべきかを真剣に考えなければならぬ必要性にせまられています。

今日は、そういった意味でみなさん方のきたんのないご意見を伺い、今後の町農政の参考にさせていただきますと思います。

司会 それでは会を進めてまいります。

何といたしまして、水田農業確立対策への取り組み方いかんが町の農業の将来を左右するかと思えます。そこで、大幅に増える転作面積に対してどう対処していくのかが、みなさんそれぞれの考えをお聞かせ願いたいと思います。



小笠原豊和さん

**他に負けな  
い特色ある  
作物作りを**

小笠原 ズバリ言って、これ

までは奨励金に甘えてきたきらいがあると思います。米を作らなくても何かを作付けすれば、それに見合うだけの奨励金をもらえた——それが、農家の生産意欲を低下させてきたとも言えると思います。減反の始まりのころは、未整備で生産性の悪い水田への転作でしたが、減反面積が年々拡大されるにつれ、整備された逸物の水田への転作も止むなく、もつたないないと思いつながら飼料作物など奨励金の高い作物を作付けすることで妥協してきました。

いま、奨励金が大幅に少なくなることで皆あわてている訳ですが、これからはもっと自分の土地を大事に有効に利用するという基本的な考え方に立ち、将来を見通した計画的な作物の栽培に真剣に取り組む必要があ



畠山町長

と思っています。そういった意味では、今年がよい機会だと思っています。

小松 私も、いま以上に転作面積が増えるはまだ償還の終わっていない整備した水田に転作しなければならなくなり、そこからいまままでおりの収入を得るためにはどうしたらいいのか模索中です。牧草を植えるにはもつたないないし、かといって野菜を植えるには全く技術がないし、とても不安に思っています。

いずれ、換金性の高い作物をと思っていきますが、畑作の専業農家である金子さんはどう思いますか。

金子 畑作農家にとっては、新しい制度の打撃をもろに受けることになりそうです。というのは、転作面積の増加によって当然野



小野勝徳さん



榊野産業経済課長

菜等の作付面積が増え、流通量が増大することで価格の変動に拍車がかかるからです。そうしたことで、これからは競争が一段と激しく、まさに競争が始まるといった気持ちです。

畑作農家のみならず、そうした中で野菜等を栽培していくには、量、質などにおいて他に負けないものを作ることが必要です。しかし、野菜等の栽培技術は一朝一夕で生まれるものではないので、時間をかけ、忍耐と研究心を持って取り組んでいくことが必要かと思えます。

遠藤 私は稲作と畜産の複合経営ですが、東由利は由利牛の里と言われるだけに牛の数が多く、たい肥の量も豊富なことから、転作でたい肥を生かした作

(次ページへ)



小松良徳さん



金子拓雄さん

(前ページから)  
物づくりを進めていったらどうだろうかと思っています。作物にはたい肥を使わなくても栽培できるものもあるわけですが、たい肥を使わないと栽培できない作物、他にまねのできない特色のある作物づくりをしていくことが、作物過剰時代でもある現代の農業に生きる近道のように考え、いまその研究をしているところです。

また、近年北海道・東北で夏秋野菜が伸びてきていることから、その波に乗ってわが東由利でもその栽培に取り組んでいくことも一つの方法かと思えます。とにかく、何の作物でも産地化を形成していくことが大事で、一つの作物のブランドが確立されることによって他の作物も市場に入れやすくなり、結局は何を作っても売れるということになります。それには、市場にあまり出ていない作物を発掘し、全農家一体となった産地化形成に努力していくことが、ブランド確立の近道だと思っております。

## 町ぐるみで 集団転作の 確立を

**小野** 野菜の振興は、転作面積の拡大により当然必要なことですが、2割減反が行われた場合その面積は240畝です。この面積を野菜の栽培で消化する

だけの労働力は、2種兼業農家の多い本町にはないと思えます。それに、今後ますます2種兼業農家が増えていくでしょうし、労働力の必要な野菜栽培ができるのは専業農家だけだと考えます。

そこで私は、大琴でやっているような互助方式の集団転作を町ぐるみで進めていくべきだと思っております。転作は、個人または小集団でやっても生産性、収益性がなく、まして流通的にも大きなハンディがあります。町と農協と農家が一体となって、作物を一定化し、転作の集団化を図る——それが農地の有効利用にもなり、換金性の高い作物の栽培を可能にし、ひいては特産物の発掘にもなり得るものと思えます。

ぜひ、町ぐるみの集団転作を進めていただくよう町、農協にお願いしたいと思っております。

**町長** いま集団転作の話がありましたが、新制度では助成金に、団地化・協業化などによるところの生産組織加算や、農協主体によるところの一村一品運動を根底とした産地形成加算などが設けられており、これらを有効に活用して集団転作を実施することも考えられるかと思えます。

集団転作は、低コスト農業を確立するためにも基本的な方法であり、行政、農協、農家の三者一体の中でぜひ実現させたいものです。

**司会** 転作に対する考え方をひととおりに聞きしましたが、小野さんの話しにあったように、特産物の開発ということについては本町では古くて新しい課題です。

そこで、転作とのからみで特産物についての考え方を伺いしてみたいと思っております。

## 特産物作り は行政・農協 の援護必要

**金子** 以前本町で、特産物にしようとの考えから転作にスイカを栽培したことがありますが、技術が伴わなかったせいもあり量を確保できなく、流通を他の農協に頼ったという経緯があります。

やはり、作物でいちばん大変なのは流通で、それには量と品質の確保が必要不可欠です。現在由利郡内で産地形成を目指しているアムスメロンも、耕作者のほとんどが2種兼業農家ということもあって量がまとまらず、八竜町などの主産地に立

ちうちできないでいます。しかし、甘味があることから消費者の評判がよく、量さえ確保できれば由利郡内の特産品としてブランドの確立ができるものと思っております。やはり量を確保することが大きな課題です。

**小野** 金子さんの言う量の確保で問題となることに「豊作貧ぼう」があると思います。しかし、これは止むを得ない現象で、いかにこれに耐えられるかが重要な問題になってくるかと思っております。

青森県特産の長いもは、生産過剰による値くずれが何年間続いても生産を止めなかったことが、結果的に生産をひとりじめするようになった。これは、長



右から遠藤さん、小野さん、小松さん

# 今年の転作は 246ヘクタール

## 新しく始まる 水田農業確立対策

62年度からスタートする水田農業確立対策(2期6年)で、このほど県から昨年より74畝多い246畝の転作目標面積が配分されました。同面積は本町水田の21・2割にあたるもので、減反政策が始まった44年以来最高の転作率となりました。また、これに伴う事前売渡限度数量は61年度より5、417俵少ない71、352俵が配分されました。町では、転作等目標面積、事前売渡限度数量の各農家への配分方法を、町水田農業確立対策推進協議会(会長畠山亮二郎)に諮った上で決定することにしており、その結果を協同班長会議(1月中旬予定)で公表、協力を要請することになっています。

## 奨励金も2割カット

水田農業確立対策では、転作等目標面積の大幅な積み増しとあわせ、奨励金が助成金と名称を変更し総枠(全国)で約2割削減されました。また、転作作物区分が変わり、従来の麦、大豆、飼料作物といった「特定作物」が一般作物に、一般作物の野菜、葉たばこが「特例作物」となって助成金のラ



右から金子さん、小笠原さん

い視点で産地形成に取り組んだいい事例だと思えます。しかし、その根底にあるのは、価格低落期間のバックアップ体制で、行政や農協がいかにそれに対応しているかが大きな課題になると思えます。

## メリツト多いスイートコンの栽培

**遠藤** 転作面積が増えることで私は牛を飼っている仲間たちと出会うたびに、「転作にはスイートコンをやれ」といっています。スイートコンには地力が必要で、そのために不可欠な肥料には欠かれませんし、労力もあまりかからないことで

大規模の栽培ができ転作面積の大幅な消化につながります。しかも、その殻をデントコンの代用として利用することで粗飼料の確保にもなります。それと、スイートコンは粘土質の土壌だと甘味が出るので、粘土質の多い本町の耕地には最適な作物であり、他に負けないスイートコンを作ることで、ブランドを確立することができます。

**町長** 非常にいい意見だと思います。畜産と畑作の複合経営の典型とも言えるもので、このことは畜産の町だからこそできることであり、他町村にはまねのできないことかも知れません。**小松** 転作面積の消化という点にメリツトを感じますが、スイートコンの反収はどれくらいなんですか。

**小笠原** 今年 は意外と高く売れました。10キロ当たり1、000円から1、500円で、私の場合は反当15万円でした。箱代や運賃などの経費に約4割かかっていますので、収益では約9万円といったところですね。**金子** 肥料代のコスト減や牛へ与える分の飼料代を換算すると採算は十分と

れますね。ただ、スイートコンは時期的に価格差が激しいので、収穫期を配慮した栽培がポイントかと思われまます。

## 指導体制の強化が行政農協の課題

**小笠原** それと、ピーターコンなる新品種も出てますので、市場の十分な研究も必要ですね。

**小野** 作物を市場に出すためには、ある程度の量と、商品として出すための品質の確保が必要なのはさきほど来みなさんから出されてますが、そのためには技術を均一化するということも重要な問題となります。最近、農協青年部有志による夏秋野菜を中心とした野菜振興会というのが発足したようですが、こうした組織は、大量生産、品質確保のために重要な役割を果たし、仲間意識を持つことで仕事にも張り合いがでてきます。私たちの稲作研究会も、かなり以前から良質米の多収穫を研究していますが、いまでは会員のほとんどが反当10俵以上を確保するようになり、今年は反当12俵以上が8人いました。**金子** 新町では反当10俵以下の人がいなくなりました。それは、地区内に稲作研究会員がいて、技術指導をしているからです。新町だけでなく、そうした会員のいる地区は稲の姿が変わってきていると聞いています。

ですから、指導者の存在というか、やる気のある人がその地区にいることの影響は大きいようですね。

**小笠原** 私は野菜振興会の会員ですが、今の話しと同じようなことが私たちの会の活性化を導いています。というのは、この会には農協の指導員も入ってまして、その指導員が一生懸命になって取り組んでくれているからです。畑にはわれわれより一足早く出かけたなり、収穫の時も私たちがいっしょに汗を流してくれたりで、そんな対応がわれわれにやる気を起こさせ、今現在会が存続している要因になっています。

**町長** 話しが指導面というより具体的な面にほり下げられてきたわけですが、私もこれから体制の強化が不可欠であり、これが行政と農協の緊急な課題であると考えています。そしてまた、やる気のある人たちがいかにして伸ばしていくか、単なる金銭的な補助政策でなく、精神面での配慮をしていくことも行政施策であり、現在真剣に取り組んでいるところですね。**司会** みなさん方からほんとうに貴重な意見が出されているところですが、誠に残念ながら時間がきてしまいました。今後、もうこうした話し合いの場を設け、町の農業のあり方について真剣に考えていきたいと思えます。今日はお忙しいところお集りいただきありがとうございます。

ンクが大幅に下げられました。しかしながら、新助成金体系では、従来の1種、2種加算のどちらかにしか適用にならなかつたものが、栽培技術体系によって2種類(生産性向上加算・地域営農加算)の助成金をもらうことができるようになりました。(それでも現行ランクより2割減)。このほか、地力増進作物と飼料用米が転作作物として導入されます。

### 他用途 398俵の増

昭和59年に登場した他用途利用米は、61年度より398俵多い1、898俵が本町に配分されました。

他用途利用米の61年度農家手取り額は、60キロ当たり3等米で1万80円(うち流通助成金4、200円)でしたが、流通助成金がトン当たり7万円から5万円に引き下げられ、62年度では9千円を切ることも予想されています。

新しく始まる水田農業確立対策は、これまでの水田利用再編第三期対策による単なる米の生産調整とは異なり、水田農業を、作物はもちろん、規模拡大、担い手の確保という構造的要因にもスポットを当て、地域農業のあり方を問い直すという総合的な見地をとらえた国の施策で、稲作中心の本町農業にとって厳しくも真剣に対応しなければならぬ必要性にせまられています。

# 町営テニスコート設置 条例を制定

## 12月定例町議会

一般質問では6議員が18項目30事項について質問、町長が答弁を行いました。以下質問内容、答弁を抜粋してお知らせします。

- 質問**
- ① 中学校への英語指導主事助手の積極配置及びパーソナルコンピュータの導入を。
  - ② 在京産業経済人懇談会(仮称)の設置を。
  - ③ 水田農業確立対策に対する基本的な考えを。
  - ④ 保健婦増員の計画は。
  - ⑤ 町内企業に対して応分の援助を。

- 助を考えると、
- ⑥ 役場庁舎老朽化につき移転改築の考えはないか。
  - ⑦ 国庫補助金の引下げ見通しと、これに対する財源対策は。
  - ⑧ 地籍調査の結果と問題点及び対応策について。
  - ⑨ 内水面漁業の活性化を。
- 町長答弁**
- ① 国際化への対応、教育効果の向上など、また、社会的なコンピュータ導入の本格化、などにより必要性が考えられるので、町教育研究所に検討させたい。

12月定例町議会が12月19日から4日間の会期で開かれ、町長の町政報告、一般質問のほか、町営テニスコート設置条例の制定や61年度各会計補正予算など8議案を審議、いずれも原案どおり可決して閉会しました。以下概要をお知らせします。



12月定例町議会、会議風景

- ② 町おこしへの提言、助言、情報などが期待できるものであり、実現に向け十分検討したい。
- ③ 稲作中心の農業立町である本町にとって重要かつ早急な課題としてとらえ、これまで農協との協議会、農業中堅青年との座談会をもつなど具体策を模索している。実施にあたっては、生産者、農協、行政の緊密な連携の中で進めていきたい。
- ④ 63年に1人増員の計画で検討している。
- ⑤ 町中小企業振興基金条例に基づく融資制度などの援助策を講じているが、その他の援助策については他産業との関係を検討し慎重に検討したい。
- ⑥ 庁舎建設には補助制度がなく、それ以前に必要な事業も抱えていることから町の財政見通しを見極め、町民の声を十分聞いた上で建設時期を考えたい。
- ⑦ まだ明らかでないが、報道によると引下げ分は財政投融资を増大し地方負担の軽減を考慮しているようだ。いずれにしても厳しい国の財政が地方財政にも反映するものであり、本町の財政見通しからしてかなり厳しい予算編成になると考えている。
- ⑧ 61年度は、黒濁字の16字、

**町政報告**

町長が主として、町政報告の掲載を、今議会の主要事項として行なう。

**稲作**▼米の出荷状況は11月末現在84,962俵で、対前年比1,987俵の減となったが、限度数量に対しては8,899俵の増で、1等米比率も96・1割と良質米の多い年となった。また、151畝に作付けした「あきたこまち」は予想を上回る作柄で、9,725俵を出荷した。

転作の状況は、農家の協力により配分面積172畝に対して176・96畝の実績となった。転作率は102・9割。

**葉たばこ**▼耕作面積38・5畝、耕作者92人で売上総額が1億6,400万円余りとなり、10ア当たり平均42万7,443円の収入となった。

**肉用牛**▼今年の売上状況は本荘家畜市場取引頭数923頭で1頭平均32万4千円余りとなり、前年比5万円増の高値安定の年となった。

**出羽丘陵開発事業**▼今年度事業費総額は11億9,100万円余りで、今年度予定事業は全て完了。全体計画では52・7割の進捗率。



2月の完成目指して基礎工事中の林産物処理加工施設

**国道107号線**▼宿工区は用地買収、支障物件の移転補償を終わり、来年度本格着工。大琴、奥ヶ沢工区については来年度用地関係者との具体的な説明会を行う予定。

**県道山崎鴻屋十文字線**▼工事区間に法崩れがあり若干の遅れをきたしている。

**同仁賀保矢島館合線**▼大吹川、須郷間の工事が予定どおり進み、来年度完成予定。

**広域関連農道八沢木地区(高村線)**▼高村橋の架替工

**健康増進センター(体育館)**

▼本体工事を終了し現在備品等を設置中。駐車場を含む外構工事は明年度となるが、4月1日から正式運営できるよう準備を進めている。

**林産物処理加工施設**▼62年2月20日までの工期で、町森林組合事業主体で建設中。完成後は低迷の木材需要の活性化、特産物など地場産業の掘り起こしができるものと期待。



1、616筆、5・73平方キロメートルを実施し、総事業費は2、748万7千円の見込み。民有地と町有地の境界確認不能箇所や、公図と地形の不合致箇所なども多く、所有者との協議を必要とした。今後も同ケース発生が懸念されるため、基準策を決め齊一を期する。

### 審議ダイジェスト

町営テニスコート設置条例を制定▼設置場所 老方字台山10使用料▽コート1面につき1時間2000円・夜間同5000円  
一般職員給与条例の一部を改正▼人事院勧告に基づき、給料(平均2・33%)などを改定。  
育児休業に係る給与条例の一部を改正▼国家公務員の給与法

⑨今後、沼、溜池などに淡水魚等の放流を行うなど、積極的な政策をとるとともに、町漁業組合の育成強化を図っていく。

◇ ◇ ◇  
一般質問の全容については、後日町議会が発行する「議会だより」をご覧ください。

一部改正に伴い、国に準じて条例文言の整備をした。

高齢者等肉用牛飼育事業貸付牛購入基金条例の一部を改正▼全県統一し1月9日から同条例題名を「特別導入事業基金条例」と改正、文中基金名も改めるもの。

### 陳情等

町道上野線の改良工事についての陳情など8事件を原案採択、4事件を継続審査としました。

採択、継続審査となったそれぞれの陳情等事件の題名などについては後日町議会が発行する「議会だより」をご覧ください。

### 補正予算(会計)

61年度一般会計予算のうち、691万7千円を減額、歳入歳出予算の総額はそれぞれ24億5千8百2万9千円となりました。歳出補正予算の主な内訳は、人事院勧告に係る町職員給与、農地流動化奨励補助金、健康増進施設の一部設備に対するコミユニティ事業助成金の充用、地籍調査費、河川災害復旧費などの追加のほか、事業完了あるいは発注事務完了による精算見込みで、テニスコート新設事業費、農道・林道・一般道路新設改良費、道路災害復旧費などを減額しました。

## 確定申告は正しくお早目に

### サラリーマンの確定申告

確定申告をしなければならぬ場合

- ①給与の年収が1、500万円を超える場合
  - ②給与以外の所得が20万円を超える場合
  - ③給与を2カ所以上からもらっている場合
- 確定申告をすると所得税が還付される場合
- ①マイホームをローンなどで



### 2月16日から始まります

昭和61年分の所得税の確定申告は、2月16日から3月16日までです。期限までに申告をしなければなりません。誤った申告をしたりすると、不足の税金を納めるだけでなく、加算税や延滞税も納めなければなりませんので、お早目にお済ませください。

- 取得した場合
- ②多額の医療費を支払った場合
  - ③災害や盗難にあった場合
  - ④年途中で退職し、再就職していない場合



袖山地区多目的研修施設

事を1月10日ごろに予定。このほか、林道矢走線、荒沢川線、ボツメキ線(舗装)は、今年度予定分を完了。坪倉線、深山線は今年度分90%の進捗率。

### 袖山地区多目的研修施設

本體工事を完了し備品等を設置中。明年度外構工事を行うが、建物は4月1日から運用を開始する予定。

河川災害復旧事業▼1億600万円余りの事業費で、すでに29か所の工事を発注済。残る2か所は12月中旬に発注。

老方前堤▼工事は予定どおり進んでおり、明年度更に環境整備を含め継続工事を行う。

老方地区コミュニティグラウンド▼来年度同地にコミュニティセンターの建設を予定。

土場沢、高屋地区簡易水道工事▼本年度調査を実施。明年度東由利水道拡張工事として施工を予定。

出稼ぎ▼12月19日現在の出稼就労者は503人で、前年比82人の減。減少要因は経済不況の反映によるところも大きく、今後とも安全就労対策を推進していきたい。

ご存知ですか

## 検察審査会制度を

\*\*\*\*\*

詐欺や交通事故などで被害に遭い、加害者は、当然起訴されて処罰されるものと思っていたのに、検察官は加害者を起訴しないということまで事件を処理してしまっただけ。どうも納得できない。このような不満を持っている方はいませんか。

検察審査会は、検察官が被疑者を起訴しなかったことの可否を審査するために設けられている。刑事事件については、検察官が起訴した事件についての裁判を行うということが原則になっています。したがって起訴するのが相当な事件であっても、検察官がこれを不起訴処分にする、犯人を処罰することができないという不合理な結果になります。検察審査会制度はこの大切な検察官の仕事に国民の常識的な意見を反映させることにより、その適正を図ることを目的として設けられたものです。

※詳しくは、秋田地方裁判所内 秋田検察審査会事務局(☎秋田24)3121へ

まちの話題

Machino wadai

● 歳時記

宝船



「なかきよのおのねぶりのみなめざめ、なみのりぶねのおとのよきかな」この歌は、上から読んでも、下から読んでも同じですね。こういうのを回文歌と言います。江戸時代には、良い初夢を見るようにと、宝船の絵と、この歌を書いた紙を枕の下に置いて寝ました。正月には宝船売りが「お宝、お宝」と言いながら絵を売り歩きました。明治時代になってもこの風習があったそうです。

宝船には、米俵や財宝が乗っているだけのものもありますが、多くは、七福神が乗っていました。

七福神とは恵比寿、大黒天、弁財天、毘沙門天、布袋、福祿寿、寿老人をいいます。面白いのは、この顔ぶれは、神さまと仏さまがまざっていることです。最近では宝船の絵を枕の下に置く風習はすたれましたが、正月の七福神もうでは盛んです。この時もうでる所が、神社と寺と両方まざっています。しかも、たとえば大黒天が神社に祭られていたり、寺にありたりするので、町人の信仰のおおらかさなのでしょう。

それと、七福神のふるさとインド、中国、日本とまちまちです。国際化のさきがけみたいなのですね。

「りっぱな園舎をありがとう」

みどり保育園の落成式挙行

10月末に完成した社会福祉法人玉米福祉会経営「みどり保育園」の落成式が、12月5日同遊戯室で行われました。式には関係者、父兄、園児ら約120人余りが出席、あいさつや用地提供者などへの表彰状の贈呈のほか、園児が「りっぱな園舎をつくってくれてありがとう」とお礼をのべ、鼓笛演奏を披露しました。

同園舎は、延床面積約614平方メートルの鉄骨平屋建てで、総事業費は9,582万5千円(日本自転車振興会補助金3,257万円、県補助金1,027万3千円、町補助金2,298万2千円、借入金3千万円)となっています。



12月5日に行われたみどり保育園の落成式

1年生が進行役を務めて行われたゲーム



入学したら仲良くしてね

町教育研究所が「なかよしタイム」を試行

12月8日八塩小体育館で、みどり保育園児(6歳児24人)と八塩小1年生(34人)との交流会「なかよしタイム」が行われました。今春小学校に入学する同園児がスムーズに学校生活に入れるよう、また、いじめや非行の未然防止の一助にしようとして町教育研究所(畑山昭一 所長)が初めて行ったもので、園児が1年生から整列のしかたを教わったり、ゲームを楽しんだりしました。畑山同研究所長は「テストケースとして行っただけで、今後も継続させ成果を見きわめたい」としています。

献血ありがとうございます

12月17日、移動献血車「あかつき号」が来町、次の方々から尊い血液をいただきました。(太字は20回以上、◎は4百ミリ以上献血者) 敬称略

◎佐々木日出夫 松本精一

豊島実

〈役場〉

◎小松修一 ◎佐藤博敦

◎佐藤好男 ◎横山玉一

◎遠藤利彦 阿部弘章 小松友子 ◎畑山敏 佐々木甚一

95回献血の高橋さんに本荘保健所長が感謝状

昭和41年からこれまで実に95回もの献血をしてきた高橋政一さん(下小路・61歳)に、このほど本荘保健所長から「献血事業功労者」として感謝状が贈られました。高橋さんはこれまで赤十字特別社員章(48

郎 佐藤博和 小野肇 佐藤照子 ◎畠山明 畠山忠志 佐藤孝悦 高橋重保 高橋孝紀 ◎小松信記 ◎鈴木政雄

〈公民館〉 阿部恵美子 小松孝子 阿部力 高橋虔一 阿部司 菅原賢治

〈玉支所〉

佐藤洋子 高橋政一 工藤昭

仁 ◎佐々木雅廣 ◎小松正二

高橋富男 太田幸雄

〈大蔵館〉

工藤倫子 小松育子 渡辺仁

今野浩一 巖石文弥

年・20回献血)、銀色有功章(50年・30回献血)、金色有功章(52年・50回献血)を受章しています。



高橋政一さん

### 東由利町民生・児童委員一覧

(任期61.12.1~64.11.30)

電話市内局番(69局)、敬称省略

氏名	住所	電話	担当区域
横山 廣一	向 田	3544	泡ノ 瀧田 向者 鶴
高橋吉四郎	地下の沢	2723	地黒 沢 津 沢
渡辺 秋雄	田 代	2636	田石 代 高
畠山 清	袖 山	3815	袖大 山 吹 郷
小野 忠	高下屋	3211	時高 山 雨下 屋
小松 長毅	須郷田	2746	須郷 田 館新 沢
畑山 裕子	館 西	2492	宇戸 坂 館 西
小番 順	家ノ下	2051	家下 下 八 路 小 町
大塚 トシ	板 戸	3046	五久 保 板 戸
工藤 武雄	山 崎	2102	山松 崎 柴
佐藤 守	祝 沢	3282	祝茂 沢 沢
加藤 清	湯出野	3488	湯出 野 寺 田
畠山 龍子	中 通	3111	上中 通 下 通
畠山 久八	新 町	3347	新横 小 上 路 里
小松サダミ	宮ノ前	3208	宮ノ 前
太田千代三	蔵新田	3968	蔵 新 田
阿部 雪子	蔵	2575	蔵
阿部タツ子	岩 館	2567	横岩 渡 館
遠藤 真吉	新 処	2562	野新 田 十 前
遠藤莊二郎	小 倉	3329	桂台・小倉 中ノ沢・高村
小松善次郎	黒 沢	3666	黒大 沢 台
大日向イサ	大 琴	3958	大 琴
畑山 寅松	下 吹	3638	宿 吹 下 屋
畑山 藤作	土場沢	3789	土高 場 沼
大庭 キヨ	舟 木	3215	舟木・畑村 杉森・奥ケ沢



前堤を悠悠と泳ぐ白鳥

吹雪となった12月22日の寒い日、町が現在整備している老方前堤(新町)に、親子と思われる白鳥の群れが突然現われ、道行く人たちの足を引き止めました。白鳥は、真白の親と思われるのが2羽、少し小さ目の体で薄茶色の子と思われるのが5羽の計7羽で、水面を列を作りながら悠悠と泳いでいました。吹雪の中の飛行に疲れ、休息のために同堤に降りたものと思われる、白鳥親子は1時間ほど経つと再び空高く舞い上がっていきました。

### 老方前堤に7羽の白鳥が飛来

吹雪の飛行で休息?

町公民館が「手づくり絵本講座」を開設、初回の12月14日親子など40人が参加しました。講師は本荘市手づくり絵本ボランティアサークル会員2人で、同会員らは布で作った絵本や会員創作の絵本を紹介、手づくり絵本を作る喜びや楽しさを訴えながら「最近ではまねることから、だんだん自分で創作できるように、世界でひとつしかない絵本がで上がります」と、絵本の作り方や製本の仕方を丁寧に指導しました。町公民館では同講座を継続し、ふるさとの民話を題材とした手づくり絵本を作っていきたいとしています。



親子ら40人が参加した手づくり絵本講座

### ふるさとの民話を手づくり絵本に

### 町公民館が「手づくり絵本講座」開設

### 新民生・児童委員に25人を委嘱

### 新任は阿部タツ子さん・24人が再任

任期満了に伴い、12月1日付で町の新しい民生委員(児童委員兼任)25人が任命されました。民生委員は厚生大臣から、児童委員は県知事からそれぞれ任命されるもので、任期は3年です。

町では、12月8日に有隣館で新しい民生・児童委員に委嘱辞令の伝達を行い、新任の阿部タツ子さん(岩館・高橋ヒデ子さんの後任)のほか、再任24人が辞令の交付を受けました。

### 生活上の悩みや困りごとなど、お気軽にご相談ください

新民生・児童委員の方々とそれぞれの担当区域は左表のとおりです。



新任の阿部タツ子さん

民生・児童委員の仕事は、単に経済的に困っている人たちの生活の保護や救護だけではなく、精神的に正常性を欠く人や肉体的に障害のある人への援護、地域の福祉を阻害しているものの解決など、すべてが活動の対象で、児童や青少年の健全な育成に関する活動も重要な任務です。常に社会の目、耳、口となつて地域住民の福祉向上に努めていますので、生活上の悩みや困りごとなど、いつでも気軽に相談をおかけください。

# みんなのひろば



としひろ  
渡辺 利宏くん・田代  
22歳・ハナさん長男

西目農業高校を卒業後神奈川県川崎市内の製めん会社に就職しましたが、家庭の事情で59年秋にUターンし秋田信英(株)に就職、以来今日まで同社の「オペレーター」として活躍中です。しぶい顔立ちから実際の年齢よりは2〜3歳多く見える渡辺くん、「自分ではまだ20歳ぐらいのつもり」と、フケて見られることにならぶり抵抗を感じているようでした。3年前に父を事故で亡くし、現在、母、祖母との3人暮らし。「早く

## ヤングレポート

32

建設会社の2代目経営者としてがんばっている長谷山光さん。長谷山さんには自分の仕事を通して持つ大きな夢があり、現在、地元仲間たちとその実現にむけ事業を進めています。それは、地元において町の観光資

### 手づくり観光開発に夢ふくらませます

長谷山光さん(石高・47歳)



源として期待を集めている八塩山、八塩ダム周辺をレクリエーション基地とするため、町とタイアップしながら可能な部分を自分たちの手造りで整備していくとするもので、すでに、有志12人による「八塩山麓会」を発足させ、昨年は同地の民有地に休憩所としても利用できる炭焼小屋を建設、将来は広場やグ

ラウンド、屋外ステージなども整備したいと張切っています。長谷山さんは、「決して経済的な余裕でやっているのではない、この町に生涯をおくものとしての生きがいの一環であり、その結果が町の活性化、若者の定住化に波及していくことを願っている。八塩観光開発は町の計画にもあると思うが、今後町との連携の上で自分たちなりの構想の実現化を進めていきたい」と話しています。現在、八塩山、ダム周辺が観光地として発展するためのカギともなる道路整備工事を町から受注、八塩山麓の手造り開発にかける夢をますます大きくふくらませています。

嫁さんを見つけて家族を安心させてやりたい」と、家族思いなやさしい一面を見せてくれました。趣味はギターで、小さいころからロックバンドにあこがれ、現在、会社仲間と「わがままバンド」というバンドグループを結成、会社慰安事業や町の文化祭などに出演し、若い人たちに人気を呼んでいます。友だちを大切にすることをモットーにしている渡辺くんの周りにはもちろん大勢の友だちがいますが、女友だちは皆無...? 今いちばんほしいもののナンバーワンは「嫁さん」で、今年の抱負はやっぱり「嫁さんを見つけること」だそうです。



あすか  
小松明日香ちゃん(板戸)  
60・11・20生まれ  
博さんと、みきさんの長女

## 私の赤ちゃん

30



わが家のおてんば娘「明日香」です。小さめに産まれた明日香だけれど今ではまるまる太っているんですよ。1歳になる前から歩き出し、この間はお餅をしょっていっしょけんめい歩いてくれました。毎目目が離せないけど、元気で明るい子に育ってほしいと思っています。

## 東由利の文芸

里の会

(短歌)

両の手に息吹きかけて童らは初冠雪の鳥海によるこぶ

よ志子

晴れ光る稲穂の波の心地よく真昼しづかな畦に立ち居り

伊出

雪被る色鮮やかな南天に心清しく春を寿ぐ

富貴子

澄める空月は八塩の稜線をあまねく照し昇り行くなり

愛子

# みんなのひろば



小野喜和子さん  
(高屋)

子どものスキーサークル発足を望んで：



大人にとっては長く憂うつでも子供にとっては待望の、冬が到来。冬一番のスポーツスキーは、全身を使って大人も子供も楽しめ、親子のスキンシップの向上、友人づくりに大きなメリットがあると思います。

さて、他の町には子供たちだけのスキーサークルがあると聞きます。幸い、本町には小さいながらもナイターもできるスキー場があり、立派な指導員が大勢います。こうした人たちの力を借りて、子供たちに思いっきりスキーをさせるためのサークルがあれば……そうすれば、親も安心して子供にスキーをさせることができ、雪国東由利独特の人づくりにもなるのではないかと、思う今日このごろです。



小松義隆くん  
八塩小・3年



題・「自画像」



長谷山由香さん  
八塩小・3年

## 金婚さんいらっしゃい

21

小松忠

75歳  
ツルノさん・72歳

山崎・結婚歴55年



病気とは縁がないままに今日まで過ごしてきた小松さんご夫妻。健康の秘訣を「仕事をおつくうがらずに、しかもなまけなくよくやること——早寝早起き——と話していました。

ときには土木作業の仕事にたずさわるほどマメな忠蔵さんは、30アほどの大豆や小豆畑の耕作を担当、1年中畑仕事に精を出します。また、10アに野菜を栽培し農協や地元商店に出荷しているツルノさんは、野菜づくりが大好きで、味の良い野菜栽培の研究を生きがいにしています。今年4月の孫の結婚式を、首を長くして待っていたお二人——どうぞいつまでもお元気で。

## 公民館「図書」案内

- 中国の歴史・大運河の建設 (手塚治虫) ● よい旅、よい味、よい人生 (田中澄江) ● 火の鳥・ヤマト編 (宇宙編) (手塚治虫) ● 胡桃の家 (林真利子) ● コロンブスの卵を生む男 (徳丸壮也) ● ドキュメント「昭和」世界への登場 (NHK取材班)
- 聞き書・静岡の食事 ● 中国の歴史・世界の都長安 (手塚治虫) ● 由利地方中世史拾遺 (吉川徹)
- 嵐吹く時も (三浦綾子) ● 私の青春日めくり (澤地久枝) ● 夜と陽炎 (開高健) ● 破れた繭 (開高健) ● 生きてきた八十年 (梅津千代松) ● 秋田のじっちゃんばっちゃんが綴る暮らしの記録 (県老人クラブ連合会) ● 大黄河 (樋口隆康) ● いのち・下 (橋田寿賀子) ● 昭和文学全集 (相賀徹夫)
- 百人一首 (鈴木泰二) ● 図解・世界ゲーム大事典全十巻 (江橋慎四郎) ● 日本の古代 (岸俊男)

# わが町ズームアップ



ゲンショウコ (フウロソウ科)

## 郷土の野草



22

路傍にふつう見られる草で、茎は地上を斜めにのび、対生する深い切れこみがあり黒紫色の斑点のある葉をつけ、夏に淡紅色か白色の五弁の小花をつけます。花後ロケットのような種子を、花後種子を周囲に飛ばします。草の名は飲むとすぐ証拠が現われることからついた名で、土用の丑の日頃タンニンの多く含まれたものを採り、水洗いし陰干しにします。高血圧予防にはこれを10g、ドクダミ10g、ハブ(決明子)といって薬店にある5gを土瓶で煎じお茶がわりに飲みます。また、下痢や整腸には20gを水約2・5合で半量に煎じて飲むと効果があるとされています。(小松忠正)



30



雪入 勲さん (桂台出身・52歳)

郷里の皆様、明けましておめでとうございます。郷里を離れて早や三十有余年が過ぎ去りましたが、広報「ひがしゆり」を見るたびに何かと郷里の山々、そして少年時代の「キカネ童」のニックネームを背負って遊びまわっていた頃が懐かしく思い出されます。私たちの子供の頃は、正月はほんとうにうれしいものであり

ました。「正月どこまで来たくるくる山のかげまで」と言っ指折り数えて正月の来るのを待ったものです。そして、いよいよ年越しの日、各家々ではたぐさんの料理を作り茶の間で家族一同が一年の無事を祝い感謝し、正月を迎えたものでした。また、元日の朝はいつもより早く起き、「若水汲み」の行事を行ったりしたのですが、今

ではそんな行事はなくなってしまうたのではないだろうか。近年何かと帰郷する機会が多く、そのたびごとに驚くことは道路がよく整備されたことであり、また、各地区にさまざまな施設が出来ていく事であり、特に、特別養護老人ホーム「東光苑」は誠にすばらしいものと感嘆し、町のご努力に敬服する次第です。郷里のみなさま、本年もご健勝でよりよき町づくりにご努力され、郷土東由利町が一層発展されますことをお祈り申し上げます。(お住い▽〒133東京都江戸川区南小岩6-10-2)

かえりですか  
保健婦です

28

雪の降らない冬は本当に楽なものだという会話をよく耳にする毎日です。さて、高齢化社会という言葉はもう耳にタコができているくらい聞き慣れてしまっただ方が多いのではないのでしょうか。世界のどの国よりも早い速度で高齢化の波が押し寄せている日本を、各々で注目しているとか。高齢化が進む一方では経済成長は鈍化し、お金に頼って自分の老後を考えるにも不安さは増すばかりとなってきました。前置きが長くなってしまいましたが、今ほど、心の

## 考えませんが 社会的健康

健康を見つめ直すことの重要な時期はないように思えてなりません。お金だけに振り回されない信念を持ち、何らかの趣味を嗜み、適度に人と混じりながら家族や地域に調和していく事が極めて重要であり、課題でもあるのです。しかし、只々働かなければならなかった明治、大正昭和の一代の年代と、新人類とまでいわれるような最近の年代の人々とは、思いのほか隔たりがあるような気がするのは私だけでしょうか。前例や見本のない高齢化社会に順応し、より充実した生き方になりたいと願うのに年代の別はないはずですが、とかく健康といえば身体にだけ目を向けるがちですが、自分の社会的健康にも目を向けてほしいものです。(保健婦・小松)

## 情報コーナー

### 運転免許関係等の手数料改正

1月1日より自動車運転免許関係の手数料が改定になりました。( )は旧手数料。

特殊、けん引免許は2,000円(1,500円)、第1種普通免許は1,600円(1,500円)、小型特殊、原付自動車免許は1,200円(1,000円)

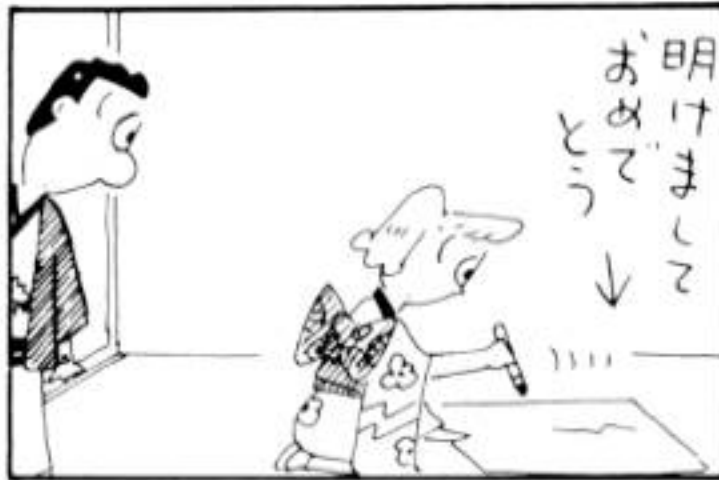
### 免許更新手数料改正

2,400円(2,000円)

第2種、第1種大型、大型

# さわやか 君

西村 宗



「ナイタースキー教室」での指導風景

# わが町ス・ム・ア・フ。

「町の銘産品たずねある記」は、12月号 (No. 381号) をもって終わらせていただきました。なお、新企画を考案中ですが、「こんなことを知りたい…」という要望がありましたら、役場総務課広報係 (☎ 69-2110) までご連絡をお願いします。

# わが町仲間

東由利町  
スキークラブ  
会長・石綿民喜さん  
(大琴)

町スキークラブは今年結成20周年を迎え活動に増々意欲を燃やしています。昨年は当クラブ主催のバッチテストを5回開催、1〜4級あわせて75人が合格しました。今年も1月15日を皮切りに計5回行います。また、町内小学校のスキー教室をはじめ各種スキー教室で有資格クラブ員が親身に指導にあたるほか、大平スキー場のパトロール、ピュッテ食堂の営業を引き受けています。雪国ならではの「スキー」を、冬の体力づくりと兼ね、私たちがとっしよに楽しみませんか。

今年もやるよ!

第2回

雪ん子ふれあいの集い

とき 1月13日(火)  
午前9時50分から  
ところ 有鄰館ほか

- ・雪上綱引き大会
- ・騎馬戦・大声大会
- ・箱ゾリレースほか
- マジックショーなどもあります。

主催・町青少年健全育成町民会議ほか

## 今月の催し

- 6日・消防出初式(大琴小体育館)
- 7日・住吉町政座談会(八塩館10時)・蔵地区新春移動町民室(大蔵館13時30分)
- 8日・老方地区町政座談会(商工会館13時30分)
- 8日・高齢者と子どもの集い
- 12日・健康大学(有鄰館)
- 13日・雪ん子ふれあいの集い
- 19日・法内地区成人病予防学級
- 20日・町水田農業確立対策推進協議会(有鄰館)
- 22日・水田農業確立対策自治会代表者会議(有鄰館)
- 26日・蔵地区栄養改善学級
- 27日・農業委員会

## \*ありがとう

町社会福祉協議会へ▼チャリ  
ティー売上げ金1万5千円▽大  
琴小PTA・香典返しに替え  
金一封▽阿部清作さん(杉森)、

佐藤謙さん(寺田)、佐藤芳雄  
さん(時雨山)、菅原賢治さん  
(八日町)  
東光苑へ▼バスケット3,000円▽  
梅津千代松さん(大琴)▽紙お  
むつ67枚小松安雄さん(松柴)

同再交付手数料改正  
2,500円(1,900円)  
行政処分者講習手数料改正  
短期3,600円(3,000円)、中期6,000円(5,000円)、長期7,200円(6,000円)。いずれも秋  
田県収入証紙代です。  
自衛官(2等陸・海・空士)募集  
応募資格 今春高卒見込み、または18歳以上25歳未満の者。  
受付期間 高卒見込みの者は1月31日まで、18歳以上25歳未満の者は随時。  
給与等 初任給11万200円、賞与年3回(4・9か月分)、食費、被服費等は無料。  
問い合わせは町役場民生係まで。

## 大平雪まつり

とき 2月21・22日  
ところ 大平スキー場

アマチュア無線技士試験(電話級・電信級)  
試験の資格 電話級アマチュア無線技士、電信級 同  
受付期間 2月2日から同25日まで(当日消印有効)  
試験日時 4月1日から4日までの指定する日時  
試験会場 秋田市文化会館  
受験希望者は、☎ 022・221・4147のテレフォ  
ンサービス(財団法人 無線従事者国家試験センター)で詳しいことをお聞きください。

# Love 東由利'62

シリーズ・町内各団体長に聞く  
テーマ〈私の考える町づくり〉

No.10 東由利町愛育会長 五十嵐恵美子さん



「さくら吹雪」

撮影・柴田栄子さん(須郷田)

12月14日に行われた、みどり保育園楽しみ会でのひとコマです。恒例の年長組による踊りは、今年は「さくら吹雪」。和服姿は大人顔負けの美しさでした。



「スナップ」に町民のみなさんの撮った写真をお寄せください。

あけましておめでとうございます。健康でさわやかな新年をお迎えになりましたでしょうか。今年は昨年にも増して、町では町民の健康づくりについて力を入れて下さるといふ事です。一日人間ドックを取ってみても、従来の厄年検診、還暦検診に加えて50歳検診が行われます。幼児については1歳6カ月児検診、3歳児検診に加えて2歳児検診が、また老人については、健康相談や訪問活動の充実、機能訓練。その他、全町あげての「健康づくりの集い」開催も計画されています。町では保健推進について、大変力を入れていますが、折角の計画も、皆様が利用してこそ価値があるものと思います。今年も検診には進んで参加し、健康で、明るい年にしたいと願ってやみません。

## 私もひとミロ……

新しい年、昭和62年がスタートしました。昔から「1年の計は元旦にあり」と言います。干支にちなんで、町内3人の方に抱負を聞いてみました。



4月からは6年生。学校の成績が上がるよう勉強し、家では仕事をいっしょにけんめい手伝い、お小遣いをたくさんもらえるようにしたいです。  
(阿部春樹くん・蔵・S50生)



家事、子育て、会社勤めの忙しい毎日ですが、子どもも少しずつ手がからなくなっており、自分の時間を大切にできるよう心がけたいと思います。  
(遠藤節子さん・新町・S26生)



還暦を迎え節目の年となりました。何といたっても健康が一番です。体に気をつけ、この1年を明るく、楽しい年にしたいですね。  
(高橋富男さん・館西・S2生)

### 戸籍の窓口

(11/21~12/20届出・敬称略)

### うぶ声



佐藤 栄美(昭茂一・長女) 松柴  
遠藤 信吾(昭信弘・長男) 宇戸坂  
小番 稔平(昭正裕・長男) 家ノ下  
高橋みなみ(昭満・長女) 館合新田

### 結婚



佐藤 賢一 十二ノ前  
伊東ミツ子 高村  
佐藤 利明 田代  
時田ゆかり 秋田市

### おくやみ



畠山 友蔵(86) スミ・夫 横小路  
安倍 太吉(67) ヤスヨ・夫 家ノ下

### 町の統計 12月 (11/1~11/30)

●人口 ( ) 内は前月と比較	( ) 内は1月からの累計
・男 3,022人 ( 3 )	●出生 2人 ( 51 )
・女 3,111人 (△1)	●死亡 2人 ( 41 )
・計 6,133人 ( 2 )	●結婚 5組 ( 31 )
●世帯数 1,460世帯 ( - )	●離婚 0組 ( 1 )
●ゴミ処理量..... 33 t ( 390 )	
●火災発生件数..... 1 件 ( 7 )	
●救急車出動回数..... 5 件 ( 88 )	
●交通事故(人身)..... 2 件 ( 16 )	
●交通事故(物損)..... 1 件 ( 37 )	
●総合開発センター「有隣館」利用者数 4,579人 (19,895)	
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数 4,127人 (10,163)	

町民の声を市政に！  
町長面会日今月は21日